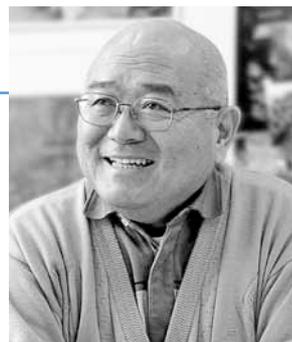


連合町内会やPTAなどが連携して、地域の川にヤマメの稚魚を放流するという幅広い世代が気軽に参加できる環境活動を行っています



楽しみながら
身近な自然に親しむ—
それが地域への愛着を
深めると思うんです



西野連合町内会 会長
佐藤 功悦さん

長年、西野地区の町内会活動に携わるとともに、ヤマメの稚魚放流事業実行委員会の委員長も務めている。

—ヤマメの放流はどのような活動ですか？

自然のヤマメが数多く生息していたかつての琴似発寒川の姿を取り戻そうと、毎年春に約3万匹の稚魚を放流しています。一つの町内会の発案で始まったこの取り組みは、今では11の連

合町内会が共同で行う事業となりました。昨年24回目を迎え、幅広い世代が交流できる地域の一大イベントになっています。

—昨年は2千人近い参加者でにぎわったそうですね。

そうですね。身近にある自然を守っていききたいという思いが少しずつ広まってきた気がしますね。特に子どもたちは、稚魚を見て目を輝かせて喜んでくれますよ。命の尊さや環境の大切さを学ぶ貴重な機会になっていると思います。

—こうした行事には、たくさんの方の協力が必要ですね。

事前の打ち合わせや当日の会場設営などでは、町内会だけではなくPTAの方などとも協力しながら行っています。また、当日は、町内会や児童会館の皆さんが、環境の大切さをテーマに紙芝居を披露する催しも行っています。

—ほかに、地域ぐるみで環境活動に取り組んでいるのですか。

ヤマメの放流時期に合わせて、河畔を一齐に清掃する活動も行っています。こうした取り組みを通じて、自分たちの手で身近な自然を守ろうという連帯感が生まれ、地域への愛着が深まっていくのだと思います。

町内会から広がる地域の輪

町内会は、そこに住む人たちが知り合える場をつくり、安心して暮らしていけるようにつながりをつくる活動をしています。皆さんも、身近な存在である町内会の活動に気軽に参加し、ご近所との交流の輪を広げてみませんか。

町内会の活動についてもっと知りたい！

パンフレットを配布中

町内会など、地域で行われている活動の事例などを紹介した冊子「まちナビ」を配布しています。

配布場所 市役所13階市民自治推進課、区役所など



チ・カ・ホで パネル展を開催

町内会活動を紹介するパネル展や映像の放映などを行います。

日時 3/4(火)、5(水)11時～18時

会場 駅前通地下歩行空間北3条付近



市は、町内会活動の魅力、このロゴとともに発信する取り組みを行っています